

心臓外科と神経内科における 難治性疾患の克服に向けて

～iPS細胞からドラッグデザインまで～

近年、再生医療や新薬開発の格段の進歩により、これまで難しいとされてきた疾患の治療が大きく変わろうとしています。本シンポジウムでは、心臓疾患の外科手術における再生医療の応用について、日本を代表する心臓外科医が分かりやすく紹介します。また、アルツハイマー病やヤコブ病などの神経疾患に対する最新の創薬開発について、第一線の研究者が分かりやすく紹介します。

プログラム

● 14:00～14:10 開会のあいさつ

● 14:10～15:00

講演1 「心臓血管外科の最新治療」

座長

岐阜大学 大学院医学系研究科
高度先進外科学

竹村 博文 教授

講師

大阪大学 大学院医学系研究科
外科学講座 心臓血管外科学

澤 芳樹 教授

略歴：昭和55年 大阪大学医学部卒業
平成18年 大阪大学大学院医学系研究科 第一外科学教授
平成24年 京都大学iPS細胞研究所 特任教授

● (10分休憩)

● 15:10～16:00

講演2 「治療薬開発の最前線」

座長

岐阜大学 大学院医学系研究科
再生医科学専攻
組織・器官形成分野

國貞 隆弘 教授

講師

岐阜大学 大学院連合創薬医療情報研究科
医療情報学専攻

桑田 一夫 教授

略歴：昭和57年 岐阜大学医学部卒業
平成16年 岐阜大学人獣感染防御研究センター教授、
センター長

● (10分休憩)

● 16:10～16:50

講師を交えたパネルディスカッション 「再生医療と創薬の実際」

座長

岐阜薬科大学 薬物治療学研究室

保住 功 教授

● 16:50～17:00 閉会のあいさつ

日時 平成25年3月2日(土) 開場13:30

場所 岐阜大学サテライトキャンパス
(岐阜スカイウイング37 東棟4階)

